法音

今月のご法話

愛情をもって人に接しましょう

日蓮宗 法音寺

令和２年
10月号
No.612

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音　令和２年10月号 No.612　目次

【信仰の指針】法施（ほうせ）　功徳の話を伝えましょう　1
【朝のこない夜はない】
愛情をもって人に接しましょう　山首　鈴木正修　2
◆お会式が厳修されます　19
◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください　20
◆全山一斉清掃奉仕の日のご案内　22
◆仏教まんが・お会式　23
◆日蓮聖人とお会式について　31
◆知っているようで知らなかった!?:法音寺のこと⑩　34
◆お寺の本棚　38
◆のりのね体験　40
◆支院だより　44
◆新刊のご案内　58
◆福祉のひろば　59
○幸せのお手伝い　60
○昭徳会・鈴木修学 初代理事長のご意志を受け継ぐ人材育成　62
○日本福祉大学・〝ふくし〟を支えるエンジニアや建築の専門家を育成　64
◆賛助員ご芳名　66
◆幸せの種まき／編集後記　68
◆連載まんが・ひまわり・93　地獄と極楽　69
◆法音寺物語
◆法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針　山首上人さま 書　表紙写真・キキョウ

掲載写真　表紙・信仰の指針・3～19頁：梅田雅臣氏撮影
2頁・45頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

法施（ほうせ）

功徳の話を

伝えましょう

日教五

キョウチクトウ

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

愛情をもって人に接しましょう

お盆の頃になると、あるタクシーの運転手さんの話を思い出します。

「毎年８月12日に泊りがけで東京に遊びに行く同僚がいるんですよ。特別な記念日なんだそうです。名古屋に来る以前、彼は東京で働いていました。昭和60年８月12日、東京の郊外でお客さんを乗せて羽田空港へ向かっていたのですが、その途中でタイヤがパンクしてしまったのだそうです。普通なら通りがかったタクシーに乗り換えてもらうのですが、その時はタクシーが全く来ず、パンクが直ってから羽田空港に向かいました。ちょうど羽田空港に着いた時に、そのお客さんが乗る予定だった日本航空１２３便という飛行機が飛んで行ってしまいました。お客さんは『しょうが

ないな。まぁ、パンクは君のせいじゃないし、今日は大阪へ行くのはやめて、東京で一杯飲んで家に帰るわ』と言って、一杯ではなく、いっぱい飲んで自宅に帰ったそうです。酔っぱらって家に入り、奥さんに『ただいまー』と言うと、奥さんが腰を抜かす程驚いたそうです。日本航空123便は群馬県の御巣鷹山で墜落していたので、奥さんは御主人が死んでしまったものと思い込んでいたのです。だから、〝こんなに早く幽霊が出るのか〟と驚いたということです。その方は事情を聴いて、〝そうか、あのパンクのお陰で命拾いをしたのか〟と、翌朝一番にタクシー会社に電話をして、『羽田空港まで乗せてくれた運転手さんを探してほしい』と頼みました。すぐに見つかって再会を果たし、『君の車に乗ったお陰で私は命拾いをしたよ。8月12日は私の命の記念日だ。毎年、君がどこにいても私がご馳走をするから東京に遊びに来てくれ』と言われ、それからずっと続

いているということです」

日本航空１２３便が墜落したのは、ちょうどお盆の頃でしたので飛行機は満員でした。５２０人の方が亡くなり、奇跡的に４人の女性が助かりました。

その時、乗る予定だったのに幸運にも１２３便に乗らないで済んだ人達がいます。有名なのは明石家さんまさんです。さんまさんは毎週、日本航空のこの時間の便に乗って大阪に帰っていましたが、たまたまその日『オレたちひょうきん族』という番組の収録がとても早く終わったので、マネージャーが気を利かせて、１２３便をキャンセルし、その一便前の全日空便に振り替えて難を逃れたのです。

さんまさんは、この経験を機に東京―大阪間の移動などは新幹線を利用するようになったそうです。また「生きてるだけで丸儲け」という座右の銘も、こうした経験から来

ているようです。

ほかにも、女優の麻実れいさんや、タレントの稲川淳二さん、アナウンサーの逸見政孝さん一家、ジャニー喜多川さん等が搭乗する予定でしたが、幸運にも乗らずに難を逃れられています。

逆に乗る予定ではなかったのにキャンセル待ちをしていて、１２３便に乗ってしまった人達がいました。キャンセル待ちの人は空港で待っていて順番に呼ばれるのですが、ある人の直前で「１２３便のキャンセルはこれ以上ありません」とアナウンスがありました。その人は、その時は〝運が悪かったな〟と思ったのですが、後でとてつもない幸運だったとわかるのです。その人は〝生かされた〟と思ったそうです。〝自分は、神さまか仏さまかはわからないが何か偉大なものに生かされた。すぐ前の人までが飛行機に乗って亡くなり、自分は生かされた。心して、この命を

世の中のためにもっともっと大切に使わなければいけない〟と強く思ったそうです。その人はお医者さんでした。それから「国境なき医師団」のような活動に参加し、生涯、貧困地域や紛争地域の医療に貢献をされたということです。

私達も同じだと思います。今この時この瞬間に、私達は生かされているのです。心臓を自分で意識して動かしている人はいません。心臓は偉大な力によって動かされているのです。つまり、生かされているということです。生かしていただいていることに対して、前述のお医者さんのように〝世の中のために何かをしなければいけない〟と思うべきだと思います。ただ、そのお医者さんのような活動をすることは万人にできるものではありません。私達一人ひとりが日々心掛けるべきことはもっと身近なことで良い、と私は思います。

それが雑宝蔵経に説かれる「無財の七施」（※）です。

日常の中で、お金がなくても身体が弱くてもできる施しです。布施は仏道修行の第一です。それを身近でする方法がこの「無財の七施」です。

この中に「言辞施」（言葉の施し）があります。人をほめたり、励ましたり、また慰めたり、いろいろな形で言葉の施しはできます。

新型コロナウイルス感染症で亡くなった志村けんさんがエッセイに書いておられました。

ある番組収録後に〝今日のコントはものすごくうまくできた〟と思っていたそうです。うまくできたということは、とてもおもしろかったということです。打ち上げの時に「今日のコントどうだった？俺はめちゃくちゃおもしろかったと思うけどみんなはどうだった？」とスタッフに聞くと「いや、本当におもしろかったですよ」と言いました。

「じゃあ、そう言ってくれよ。おもしろかった時は『おもしろかった』と言ってくれよ」と志村さん。要するに〝ほめてくれよ〟ということです。スタッフの一人が「志村さん程の人にいちいち『おもしろい』なんて言ったら失礼かと思っていました」と言ったそうです。

志村さんの言葉です。

「表現は悪いけど〝豚もおだてりゃ木に登る〟。これが大事。本来、木に登れない豚が木に登ってしまうことからわかるように、ほめられることによるその効力はすごい。それくらいほめ言葉には人の潜在的なパワーを引き出す力があるんだよ」

先代日達上人のご法話の後に、当然ですが「今日のご法話は良かったです」といちいちほめに来る人はいませんでした。京都に木下さんという、とても信仰熱心なおばあさ

んがおられました。この方が御法大会で本山に来られ、日達上人のご法話を聞かれました。そのご法話の直後にメモをした紙を持って日達上人のところに来られました。そして、「今日のお話は本当にすばらしかったです。ここここに本当に感激いたしました。この部分をもう少し詳しく教えていただけないでしょうか」と言われたのです。

日達上人は大変喜ばれて、「木下さんは本当によく聞いてくださっているなあ」と言っておられました。そのお姿を見て、やはりご法話を聞いて〝「あそこが良かったです。ここが良かったです」と具体的に申し上げた方がいいんだ〟と思いました。自分に置き換えて考えてみますと、ご法話の後に「あそこが良かったです」とか「ここがためになりました」等と言われると本当にうれしいものです。老若男女問わずどんな人でもほめられたいものです。けなされたいとか叱られたいというような人は世の中にいません。

昔、動物の調教師さんの話を読んだことがあります。動物に何かを教える時に叱ったり、叩いたりして教えると、なかなか覚えないそうです。逆にほめて教えると、その何分の一かの時間で覚えてしまうそうです。人間だったら尚のことです。

明治の文豪、夏目漱石にはたくさんの門下生（安倍能成・小宮豊隆・内田百閒・森田草平・寺田寅彦・久米正雄・芥川龍之介など）がいました。漱石は人を育てるのがとても上手かったのです。その秘訣の一つは、漱石が「ほめ上手」だったという点にあるようです。芥川龍之介に『鼻』という短編小説があります。今昔物語から題材をとった作品で、鼻が大きくて悩んでいるお坊さんが登場する、滑稽な描写と機知に富んだ結びが特徴のお話です。

この作品が発表された時、漱石はすぐに読み、新人作家

だった芥川に手紙を書き送りました。

「あなたのものは大変おもしろいと思います。落ち着きがあって、ふざけていなくて、自然そのままのおかしみがおっとり出ているところに上品な趣があります。それから材料が非常に新しいのが目につきます。文章が要領を得て、よく整っています。敬服しました」

手放しのほめようです。ほめ言葉のオンパレードです。

漱石ほどの大先生であれば、少しは改善点を指摘するアドバイスがあるものです。しかし、漱石にはそういうものが一切ないのです。ほめちぎっているのです。これが芥川だけでなく、ほかの弟子に対しても同じでした。みな漱石から手紙をもらうのを楽しみにしていました。手紙を読むたびに門下生達は幸せな気分になったといいます。

芥川への手紙の結びは次のようなものでした。

「ああいうもの（『鼻』のような作品）をこれから二、三十並べてご覧なさい。文壇で比類のない作家になれますよ」

そして、その通りになりました。

当然、本人の素養があったわけですが、漱石のほめ言葉によって、大作家が数多く誕生したことは間違いありません。

古来、日本人は、言葉には「言霊」というように、不思議な力が宿ると信じてきました。特に愛情のこもった言葉にはとても大きな力があります。

『法音』誌上で何度か紹介をした元特別支援学校教諭で作家の山元加津子先生は、とても愛情深い方です。山元先生が特別支援学校に新任で勤められる前年に、特別支援学校での教育が法律で義務化されました。山元先生が赴任した

特別支援学校の近くには知的障がいや身体障がいのある子ども達の施設がありました。そこから、通える子は車椅子で通ったり、あるいは先生に手を引かれて通って来ました。施設の中には学校に通えない、まったく動けない子の部屋がありました。ラジオもテレビもない静かな部屋で誰からも声をかけられず、柵のついた白いベッドに子ども達は寝ていました。その中のちいちゃんという子を山元先生は担当することになりました。医師でもあるその施設の園長先生が言うには、「ちいちゃんには脳がないため、目も見えず、耳も聞こえず、何もわからないので、そばで好きな本でも読んで過ごすように」とのことでした。ちいちゃんには命をつかさどる場所である脳幹はあっても、高度な精神作用をつかさどる大脳がありませんでした。それでも山本先生はそんなちいちゃんを可愛いと思い、毎日のように抱きしめたのです。当時、ちいちゃんは15歳でしたがとても

体が小さく、寝たきりだったので手足が拘縮して硬くなって、骨ももろくなっていたそうです。山元先生がちいちゃんに「可愛いね。大好きだよ」と抱いたり揺らしたりして声をかけ続けたある日、看護師さんから「大変なことがわかりました」と山元先生に連絡がありました。最初は、〝自分が抱きしめたことでちいちゃんが骨折したのでは〟と山元先生は心配したのですが、そうではありませんでした。

看護師さんが言いました。

「あの部屋の子ども達は、手も足も全く動かしませんし、音も立てません。だからとても静かな部屋なのです。ところが8時のオムツ換えをしている時に、ちいちゃんだけが、手足をバタバタ動かすんですよ。〝どうしてなのだろう？〟と思っていたのですが、わかりました。山元先生、あなたがやって来るからです。ほかの人の足音とあなたの足音を聞き分けて、ちいちゃんはあなたが来るのが待ち遠しくて

手足を動かすんです。あなたが来るのを喜んでいるんです」

その報告を聞いて、山元先生はうれしくてうれしくて声を上げて泣いたそうです。

その後、山元先生はより一層ちいちゃんに寄り添うようになりました。「可愛いね。大好きだよ」と言う時、ちいちゃんは微笑むようになりました。「今日はこれで帰るね」と声をかけるとちいちゃんは泣くようになりました。ちいちゃんは誰からも話しかけられたことがないのに、不思議なことに言葉の意味がわかったのです。また、くすぐり遊びをすると、ちいちゃんは笑ったのです。そのことを、園長先生に報告すると、「単なる反射にすぎません。脳がありませんから」と言われましたが、山元先生は〝少し違う〟と思いました。くすぐることを繰り返していると、山元先生がくすぐる前にちいちゃんは笑うようになったのです。つまり、ちいちゃんはくすぐられるのを察知したのです。

園長先生の言う「単なる反射」ではなく、「期待する気持ち」があったのです。その後、山元先生が絵本を読むと、何の知識もないはずのちいちゃんが、いつも悲しい場面で涙を流したのだそうです。

山元先生は言われます。

「どんなに重い障がいがあっても、またどんな状態にあっても、誰もが深い思いを持っているという確信を持ちました」

真の愛情をもって言葉をかけ、接すると、大脳がなくても、必ず心の深奥に伝わるのです。すばらしいことです。

この体験から山元先生の特別支援学校での教員生活が始まり、その後、数々の愛にあふれた奇跡を起こすことになるのです。興味のある方はぜひ、山元加津子先生の本をお読みいただきたいと思います。

※無財の七施

1 眼施　やさしい眼差しで人に接する

2 和顔悦色施　にこやかな顔で人に接する

3 言辞施　やさしい言葉で人に接する

4 身施　自分の身体でできることで奉仕をする

5 心施　人のために心をくばる

6 床座施　人に席や場所を譲る

7 房舎施　自分の家等を人に提供する

日蓮聖人の御命日法要（お会式）が厳修されます。
法音寺本山では、
十月十七日（土）、午後一時三十分より
講日に併せて営まれます。
皆さまのご参詣をお待ちしております。

❖今月の山首上人さまご親修日程

東京支院	10月3日（土）	福山支院	10月4日（日）
郡上八幡支院	10月11日（日）	平賀支院	10月15日（木）
安芸津支院	10月25日（日）		
三原支院	10月10日（土）	大阪支院	10月24日（土）

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	3日・11日・24日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
山形布教所	7日	山形市長町2－4－6	☎〈023〉681－0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	4日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	11日・24日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・11日・25日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈058〉388－2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・13日・24日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	11日・22日	郡上市八幡町小野721－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	4日・18日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	11日・24日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	4日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	10日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	7日・11日・18日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	10日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	4日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	10日・24日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	3日・18日・25日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	3日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	4日・12日・15日・18日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	11日・25日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	11日・25日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	12日・25日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

青少年育成委員会主催

令和2年10月18日(日)

全山一斉清掃奉仕の日

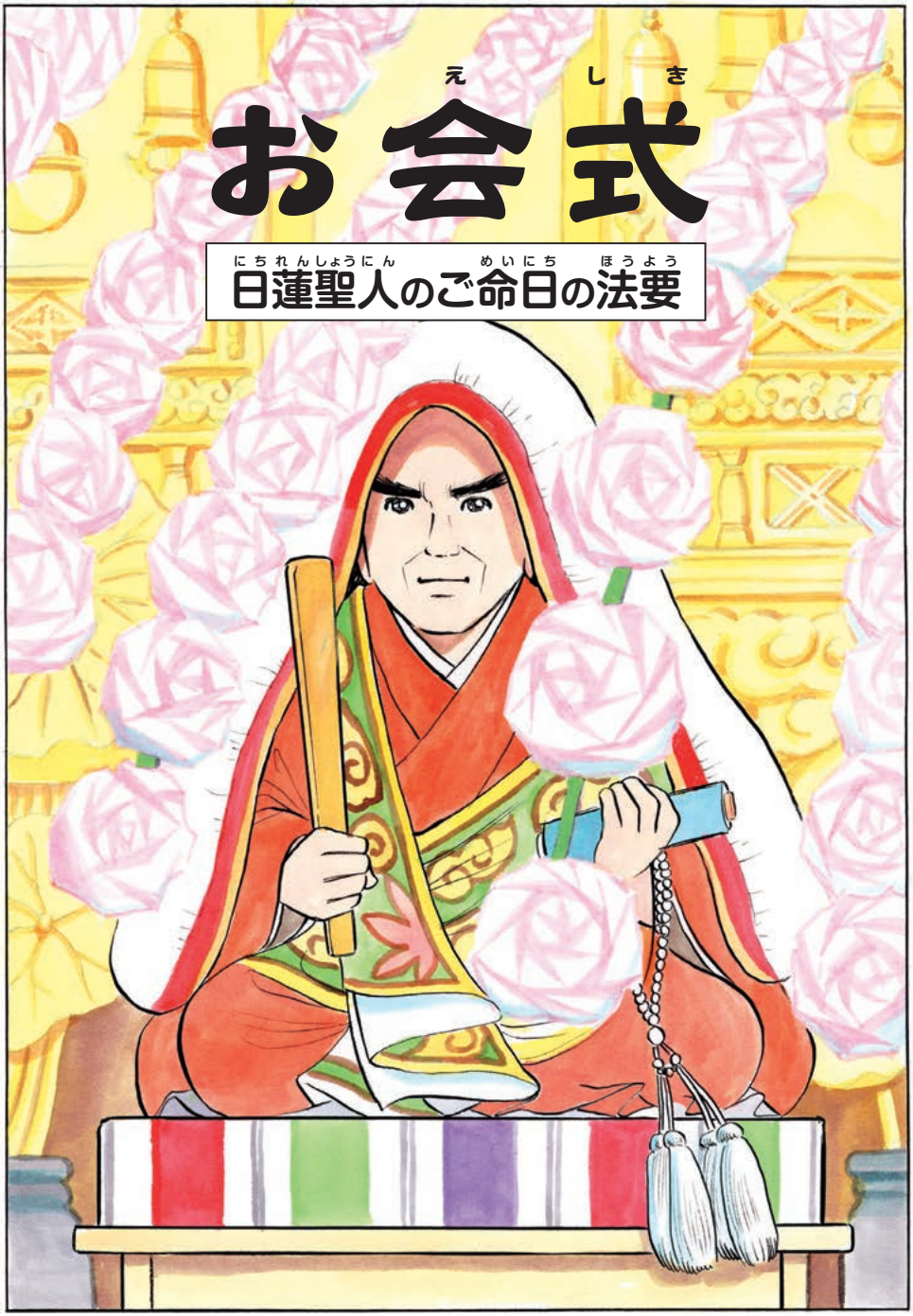
全国の各支院や布教所で、近隣の清掃を行います。感謝の心で清掃しましょう。

感謝の気持ちでお掃除

※これまでの清掃活動の様子

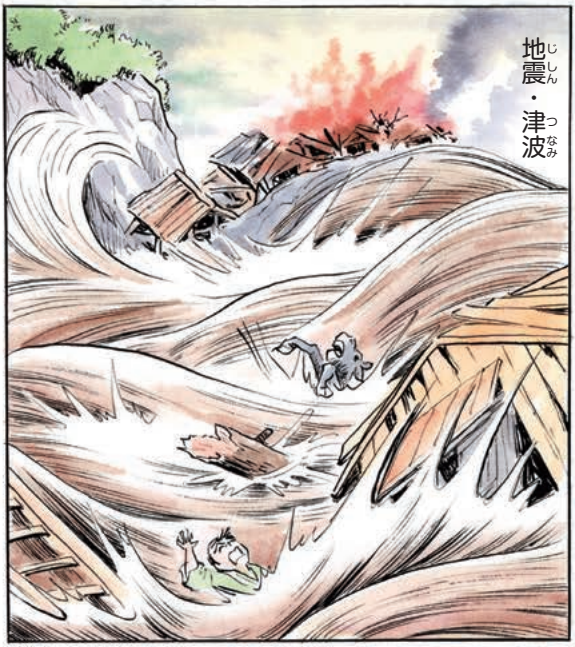
私達の住む地域をきれいに

一生懸命お掃除したよ！



Junntakenaka

時は鎌倉時代
ゴゴゴー…


地震・津波

飢饉

争乱…
人々は苦しんでいました

現世に救いを
見い出すことができず
来世にしか
望みはないと
思われていました

人を幸せにするはずの
仏教があるのに
なぜ世の中は
乱れるばかりなのだ

お釈迦さまのみ教え
であるはずなのに
なぜこれ程
多くの宗派があり
お互いに優劣を
競っているのだろう

日蓮聖人は
本当に人々を救う
ことのできる
真の仏法を求め

長い年月をかけて
経典を学び
一切経を何度も
読まれました

お釈迦さまの教えは
数多くあるが
真実は一つ
しかないはず

そしてついに確信されました

お釈迦さまの真意は法華経にあり！

法華経によって民衆の苦しみを取り除き善い社会を作るのだ

南無妙法蓮華経

南無妙法蓮華経

南無妙法蓮華経

悉皆成仏…ありとあらゆるものはすべて仏になれるのだ

本当に人々を救うことのできる真の仏法とは法華経である

法華経こそ真のお釈迦さまの教えなのだ

しかしここからが
本当に命をかけた
人生を歩まれる
ことになるのです

清澄寺で初めて行ったお説教は
仏教の本質を歪めている各宗派と
自らの欲望のままに生きている
人々への批判でした

おまえはこの地を
離れろ！
あとは私が
なんとかする

師の道善房は
日蓮聖人をそっと逃がす
ことでなんとか
その場をおさめました

鎌倉へ移った
日蓮聖人は
昼は鎌倉の辻に立ち
夜は人々を集めて
法華経の説法をしたのです

それは鎌倉中のうわさとなり批判された各宗派の僧侶達の反感をかいました

うう…日蓮め

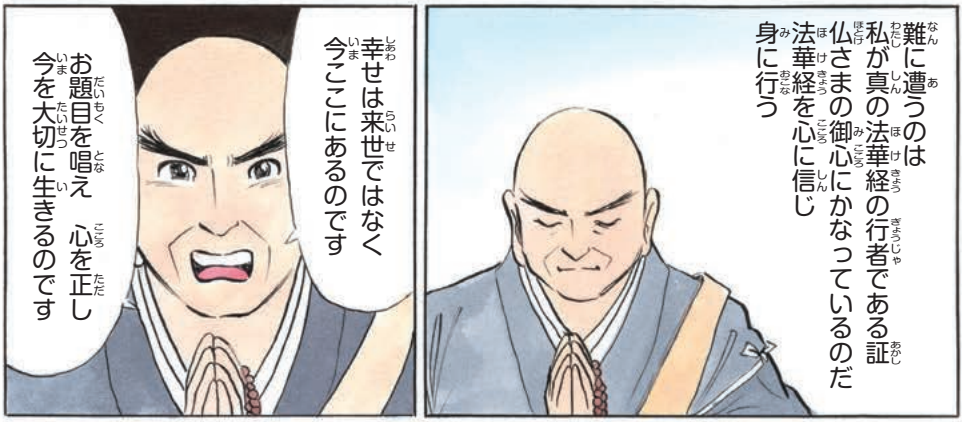
民を惑わすんじゃない！

それからもさまざまな困難に遭い命を狙われることも何度もありました

ゴロ ゴロ
ゴロ ゴロ ゴロ…
早く首を はねぬか!?

しかしそのつど 不思議な力が働き 命をつなぎました
うわっ なんだこの光は!

若し人悪刀杖及び瓦石を 加えんと欲せば 則ち変化の人を遣わして 之が為に衛護と作さん
仏さまが法華経の行者 日蓮聖人を守護されたのです


難に遭うのは
私が真の法華経の行者である証
仏さまの御心にかなっているのだ
法華経を心に信じ
身に行う
幸せは来世ではなく
今ここにあるのです
お題目を唱え　心を正し
今を大切に生きるのです

お会式は日蓮聖人の
ご命日の法要
この日は信徒の打ち鳴らす
団扇太鼓の音が
終日町中に鳴り響きました
本堂の紅白の万灯は
日蓮聖人が入滅された際に
桜の木が季節外れの花を咲かせた
という言い伝えに由来しています

日蓮聖人に思いを馳せ　法華経に
縁をつないでくださったことに感謝し
私達がその御心をつないでいけるように
お題目を唱えながら世のため人のため
一心に精進しましょう

日蓮聖人とお会式について

お会式とは

「お会式」は日蓮聖人がご入滅になられた忌日に営む法要です。「法会の儀式」の略語で、昔は「御命講」と呼んだそうです。松尾芭蕉の句に「御命講や　油のような　酒五升」とあります。信徒からの贈り物に対する礼状、「新麦一斗、筍三本、油のような酒五升、南無妙法蓮華経と回向いたし候」をもととした句です。芭蕉の生きた元禄期は御命講が盛んで、この日には信者の打ち鳴らす団扇太鼓の音が終日、街に鳴り響いたのだとか。昔から盛大な行事だったことがうかがい知れます。

万灯とおみよっこ

お会式には「万灯」と呼ばれる桜を模した花が飾られます。これは日蓮聖人ご入滅の際に、時ならぬ桜が咲いたという伝説に由来するものです。

またお会式に参詣すると「おみよっこ」という造花をいただ

きます。その名の由来は「御命講」（おめいこう）がなまって「おみよっこ」と呼ばれるようになったと言われています。お仏壇などに飾るのですが〝きれいな造花だからお会式参詣の記念として部屋の飾りにでも〟というものではありません。〝日蓮聖人のお徳をいただく〟という深い意味があります。

日蓮聖人の信念

日蓮聖人は波乱に満ちたご生涯を通して、地位・名誉・財産といったものには縁がありませんでした。著名なキリスト教思想家・内村鑑三は、『代表的日本人』の中で〝尊敬する日本人〟の一人に日蓮聖人を挙げています。

日蓮聖人は、法華経の信仰を中心に置き、真の幸福を築き上げようとされました。そのためさまざまな迫害を受けましたが、それでもくじけず法華経を説き続けられました。最後に時の執権・北条氏も折れて、「あなたの言い分はわかった。大きなお寺を作り、広い寺領も与えよう」と申し出てきます。普通の人なら〝ようやく苦労が報われた。これで地位も財産もできた〟と喜びますが、日蓮聖人は「北条氏が法華経に帰依するのでなければ申し出をお受けすることはできない」と断り、身延山に隠棲されます。内村鑑三は「それが偉い」と称えているのです。

日蓮聖人にとっては、法華経こそがすべてであったのです。

日蓮聖人は、「たくさんの経文の中、この経が一番勝れたものである。諸経の王である。仏に成る法は、唯これ一つのみである」と法華経を説かれました。経文には『如来の現在すら猶お怨嫉多し、況や滅度の後をや』また、『一切世間怨多くして信じ難し』ともあります。経文の通り難に遭い、末法に出て経王・法華経を説かれた日蓮聖人は、釈尊の直弟子・本化上行菩薩の再誕です。

また、経文に「上行は諸仏に護念を受け」とあります。日蓮聖人はさまざまな災難を蒙りながら「過去に法華経に背いた罪があるために、その報いとして地獄界に堕つべき者なるが、護法の功徳力にて、ごく小難で受けるのだ。小難で受けて、未来に地獄に堕つべき罪を消滅するのである」と喜んでおられます。

日蓮聖人の過ごされた時代は戦が起き、疫病が流行り、大変苦しい時代でした。今、私達の生きるこの世も非常にむずかしい世相です。そんな時ですから日蓮聖人のご遺徳を偲び、お徳をいただきたいものです。

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと⑩

不良青年の教護指導

福岡・生の松原ハンセン病療病院から戻った修一郎（後の御開山上人）には青年教護という新たな仕事が与えられました。愛知県知多郡阿久比村の臥竜山の田畑で17名の不良青年に農耕させながら教護指導するというものでした。

故郷で農作業を手伝った経験のある修一郎でしたが、困難が伴いました。まず、一町歩（約三千坪）の田と五反（約千五百坪）の畑

は高地にあり、田へ水を引くための溜池掘りから始めなければなりませんでした。コンクリートのように固い土で底を押し固め、山の上まで桶を担いで水を運ぶのは大変な重労働です。それでも修一郎は、二つの水桶を天秤棒で担ぐと、上手に腰で調子を取りながら山を登り、青年達に範を示し、何でも先に立って骨身を惜しまずに働きました。

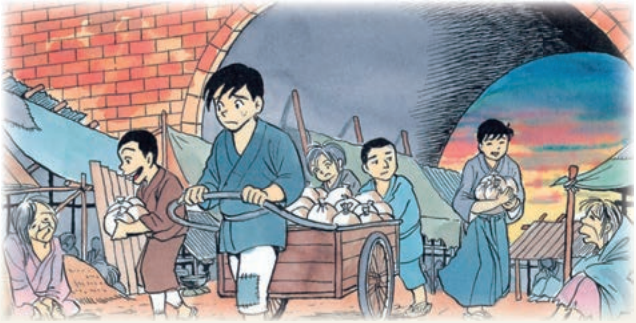
臥竜山に建てられた農事小屋で修一郎は青年達と寝食をともにし、よく語り合いました。

「君達は、当初荒れた畑や山林を見て、〝こんな荒れ地を耕作して何が収穫できるのか〟と首をかしげていたね。しかし、今はどうだ。こんなに麦や野菜ができるようになったじゃないか。人間だって同じことだ。今まで見込みがないと思われた人でも、よく心を耕作

すれば、必ず世の人からも信用されるようになる。逆にどんなに良い田んぼでも、米の種をまかなければ米は収穫できない。君達も良い種をまけば世の中に不可欠な大事な人になれるよ」

開墾したばかりの土地にもかかわらず、大豊作で、近所の農家もうらやむ程でした。そして秋、おいしい米が穫れました。収穫した約五十俵の米は一升ずつ袋に入れられ、荷車に積まれ、名古屋市内の各所で施されました。

そこには、現代では想像できないようなその日暮らしの人々がいて、突然の天の恵みと、伏し拝んで喜びました。中には米



袋を抱えて泣き出す人もいました。

米作りをした青年達は、唖然としてその光景を眺め、自分達の作業の尊さを思い知らされ、泣きたい程の感激を味わったのです。

こうした訓育を受け、世間からつまはじきにされていた青年達は、みな本来の人間性を取り戻し、家族や世間の人達に喜ばれるようになりました。

この体験により修一郎は、〝寝食をともにし、真心をもって導けば必ず人の心も動かすことができる〟という、貴重な確信を得ました。そして、それは戦後の児童養護の事業にも活かされていったのでした。

参考文献

－御開山上人伝－
『如我等無異』

お寺の本棚

『始祖・御法話集』

災難を逃るる安全法

世間の人々は、何事も因果とあきらめると申されますが、実際すべては因と果です。良い種まきをすれば良いことになります。悪種を植えれば、必ず悪の果が生ずるのです。今までの行いの中に、腹を立てずに人を善に導くという行い、即ち善因があれば、必ず幸いがくるのが当然です。

何もかも因果とあきらめる必要はありません。今から善の種まきをするのです。即ち、精神的には行住坐臥、南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と唱え、心を広く持ち、人の言うことは何事でも良い方へと解して、無理を言う者は子どもと思うのです。気の毒と思って堪忍するのです。あるいは、飢えたる人に食を与える等、物質的に施しをするのです。そこに、貴重なる功徳という徳を積むことができます。もし悪の因あって大難に遭うべき場合にも、この貴重なる功徳によって帳消しとなって、小難ともし、無難ともすることができるのが、妙法であります。

精神的に、物質的に、功徳を積めば必ず来たるべき災難も逃れられることは、永年の間私の経

験したところであります。このほかに、災難を逃れる道はありません。

汽車、電車、自動車等、人命を預かる重大な責任ある人々は、なお一層精神の修養を積まれて、安全を期せらるることが、目下の急務であります。ひんぴんと発生する列車、自動車事故の防止方法は、これよりほかにありません。この精神の修養によって大難を小難にし、小難を無難とし、不幸の人々も変じて幸福とするのが、仏教の目的であります。

精神の修養もせられずして仏道を論ずるは、机上の空論にすぎません。言葉の論をして実行しないのは、良薬の能書きを読んで服薬せざるが如くです。皆さんはのんでください。必ず実行次第の効果があります。

会員の皆々さまはお徳の高い方々ばかりです。皆さまが実行してくださって幸福を得てくだされば、皆さま方のお力にて、私も功徳をいただくことができます。

どうか実行に努力してください。

『始祖・御法話集』は杉山辰子先生の大正初期から御遷化までのご法話を集めて編集された本です。この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

新刊のご案内

\NEW/

『大白牛車』（十）

顕修院日達上人御講演／出世の意義と三徳菩薩道（非売品）

大乗山法音寺三徳開教110年・顕修院日達上人第七回忌に際し、和泉支院の壇信徒による御報恩浄業として刊行されました。日達上人が三先師の教えや御詠をもとに、本当の幸せについて私達にやさしく説いてくださっています。

◇◇◇

福祉のひろば

SINCE 1912
SHOTOKUKAI

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

幸せのお手伝い

～一つの事故を深く掘り下げること～

成長につながった出会い

私が小原安立に入職してから、10年という月日が経ちました。高校卒業後、福祉人としてゼロからのスタートでしたが、周囲の方々に助けていただきながら日々成長し続けることができました。振り返ると本当にいろいろなことがありましたが、9年目に出会った入居者の対応を通して、また一つ成長することができたのではないかと感じています。

9年目の3月に入居された女性は、食べることが大好きな方でした。しかし、嚥下機能の低下がみられ、普段からむせ込むことがありました。入居1カ月後の4月、食事中に顔色が悪くなり窒息しかけてしまうことがあり、翌5月には窒息事故が起こってしまいました。私はユニットリーダーとして、すぐに再発防止策を検討し実施しました。

しかし6月のある日、夕食時に他の介護員に呼

ばれリビングを見ると、真っ青な顔をした意識のない入居者の姿が。すぐに窒息だとわかり、傍に駆け寄りました。今までに経験したことのない不安に襲われ、「もしかしたら、もうだめかもしれない」という思いが一瞬頭をよぎりましたが、他の介護員や看護員と心肺蘇生法や吸引等の対応を行いました。必死に対応を続けていると、救急隊が到着し病院に救急搬送されました。病院で状態が回復したと連絡を受けた時は、自然と涙があふれました。約2週間で退院できることとなり、退院前に食事形態・食事環境・見守りの方法等、あらゆる面から再発防止策を検討し直しました。退院後は、以前のように自力での食事を継続することができています。

この経験を通して、一つの事故に対して深く掘り下げ、あらゆる角度から対応策を考える必要性や、緊急時の対応の重要性を学ばせていただくことができ、介護員としてまた一つ成長することができました。今後もたくさんの出会いや経験を通して、介護員として日々成長していきたいと思っています。

特別養護老人ホーム 小原安立　介護員　塚原　歩美

鈴木修学 初代理事長のご意志を受け継ぐ人材育成

写真提供・昭徳会

社会福祉法人　昭　徳　会

～コロナ禍で新しい学びの形を確立～

昭徳会は、職員の育成に力を入れて取り組んでおり、さまざまな職員研修を開催しています。主な研修としては、入職後三年間をフォローする「初任者研修」、各分野の専門的な知識を学ぶ「専門研修」、将来の幹部候補者を育成する「幹部候補者研修」、階層別に求められる知識を学ぶ「役職者研修」などがあります。

施設の多くが、職員数に余裕があるわけではありませんので、職員が研修に参加することで、現場は厳しい状況に置かれます。しかし、職員への学ぶ場の提供は、昭徳会が大切にしてきたことです。その理由は、初代理事長である鈴木修学先生のご意志を受け継ぎ、昭徳会の基本理念である、すべての人の「幸福」を実現するためです。

鈴木修学先生は、昭和二十四年、横浜にて「全国児童福祉大会」が開催された時、次のようにご発言されました。「これからの時代、子ども達を正しく導くためには、個人や民間の有志のちからで取り組むだけでは、やはり限界があると思われます。専門的な知識や技術を持った人材を養成し、また、それ

を伝達する専門機関をつくることが急務です。私ども昭徳会も、そんな人材を求めています」

このお言葉のとおり、昭徳会の職員は「専門的な知識や技術を持った人材」でなければなりません。しかし、専門的な知識や技術は、常に進化しています。学び続けなければ時代遅れとなってしまいます。そのため、近年では、日本福祉大学社会福祉総合研修センターと連携して研修プログラムを考え、専門的な研修を開催し、最新の情報を学ぶ機会を設けています。

しかし、今年に入ると新型コロナウイルスの感染が拡大し、感染予防のため三密（密閉、密集、密接）を避ける対応が求められることになりました。そのため、研修も3月から中止することになりました。しかし、学びの場を失うということは、職員の成長に大きな影響を与えます。

そのため、職員が集合せずに研修ができる方法を検討し、日本福祉大学社会福祉総合研修センターの協力を得て『オンライン研修』を実施することになりました。

「オンライン」という言葉は、福祉の現場では、あまり聞き慣れないため、多くの職員に戸惑いが見られました。しかし、実際に体験してみると、簡単に使うことができ、職員の多くが抵抗感を解消できたようです。

今後も、昭徳会の職員は専門的な知識や技術を持った人材となれるように学び続け、利用者の皆さまに『幸福』を提供できるように努めてまいります。

法人本部事務局　人事課長　纐纈　純司

〝ふくし〟を支えるエンジニアや建築の専門家を育成

～福祉工学科定員増が認可されました

写真提供・日本福祉大学

ＩｏＴ（モノのインターネット化）や人工知能といったテクノロジーの進化はめざましく、福祉の分野でもどう活用していくのかが大きな課題となっています。また、高齢化が一段と進み、誰もが暮らしやすい空間の創出に向けて、建築や環境の世界でも、福祉からのアプローチが、さらに求められています。

そういった時代の先端の課題に応え、ふくしの視点を持ったエンジニアや建築・空間の専門家の育成に取り組んでいるのが、日本福祉大学半田キャンパスにある健康科学部福祉工学科です。

最近の志願者数の増加を踏まえて、２０２０年３月文部科学省に、定員70名を１００名に変更する定員増の申請を行い、この度、正式に認可を受けることができました。

18歳人口の減少という厳しい環境下で、定員増が認められたことは、社会からの人材要請と、この分野への進学需要、両方に応える学科として期待をされていることの証だと考えています。現在は、さらなる教育・研究の充実に向けて、次年度からの新しいカリキュラムの開講準備に教職員一同で取り組んでいます。

福祉工学科は、２つの専修（情報工学専修・建築バリアフリー専

修）を設置しています。

情報工学専修では、ハイレベルな情報工学系科目を学び、情報技術を活用した生活支援機器や福祉用具の開発、利用者への適合支援などができる高度なエンジニアの養成をめざしています。在学中に「福祉用具プランナー」研修修了試験受験資格を取得できるのは、中部地区はもとより全国の工学系大学の中でも本専修が唯一です。

実践的な学びを支える環境として特徴的なのは「福祉テクノロジーセンター」を備えていることです。車いすなどの福祉用具や支援機器が約２００点展示され、学生達は、そこで福祉用具の製作・改造、福祉用具の適合などの演習に取り組んでいます。学内外の機関とも連携して、福祉用具や支援技術の研究・開発に取り組んでいます。

建築バリアフリー専修では、建築の専門科目と並行して、ユニバーサルデザイン、福祉住環境計画や自然と共生した住環境などを学び、福祉の視点も併せ持つ、建築や空間づくり・まちづくりの専門家の養成をめざしています。卒業時には全員が「二級建築士」試験受験資格を取得でき、取得単位数に応じて「一級建築士」試験受験資格も取得できます。

学生達は、ゼミや卒論などで、キャンパスのある亀崎地区を中心としたまちづくり、古くなった建物や空き家の新たな活用、福祉施設との協働による施設設計、民間企業との産学連携による生態系ネットワークの推進など、さまざまなフィールドワークを展開しています。

また、今年の1月には、学術交流協定を結んでいるタイ・スィーパトゥム大学と学生参加型の国際合同建築・都市設計デザインワークショップを開催し、学生16名と教員3名がタイを訪問しました。国外へもフィールドを広げ、さらに充実したプログラムを学生達とともに作っていきたいと考えています。

健康科学部の学部コンセプトは『人の手と技術でしあわせを支える』。もう一つの学科であるリハビリテーション学科では、理学療法士、作業療法士、介護福祉士の養成に取り組んでいます。

今年は新型コロナウイルスの影響で、例年とは違う形での授業や学習を余儀なくされています。改めて「しあわせを支える、人の手と技術の価値」を深く考え、乗り切っていきたいと思います。

日本福祉大学半田キャンパス事務部長　田邊　雄一郎

幸せの種まき＝感謝と親切

善いことをせずに
良い結果を求めるのは、
種をまかずに
収穫を期待するようなものです

何をおいても善根功徳を積み
他人にも教えてあげましょう。

大乗山　**法音寺**

編集後記

「地震」「暴風雨」「疫病」…という言葉が並ぶと、皆さんは近年の日本の状況を思い浮かべるかもしれません。しかし、日蓮聖人が『立正安国論』を執筆された背景がまさにこの状況だったのです。つまり、私達は当時と似たような状況に置かれていることになります。

日蓮聖人は『如説修行鈔』で「すべての人々が一同に南無妙法蓮華経と唱えるならば、吹く風は枝をならさず、雨は壤を砕かず、世の中は平穏な社会となり、今生には不詳の災難を払い、長生きの術を得る」と述べておられます。

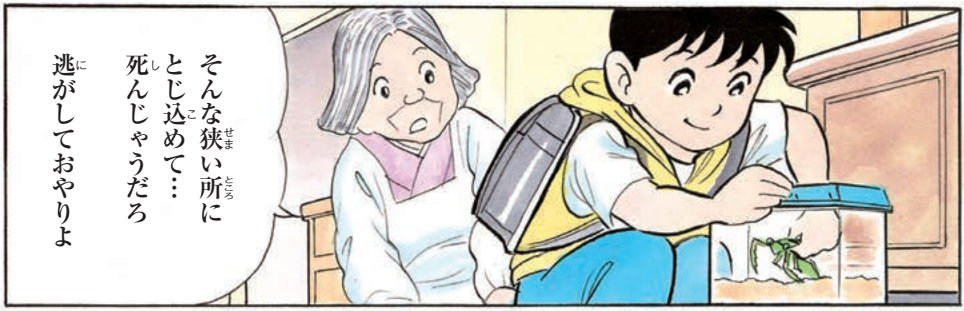
また、杉山辰子先生の『始祖・御法話集』には「一個人の災難が一個人の罪障である如く、国家的災難は一般国民の思想の悪化によって来る悪果であります。一般国民がこれに目覚めて精神修養しなければ、神仏といえどもどうして守護ができましょう。常に準備をして、事ある時に霊験を表すよう功徳を積んでおくことが、最も肝要であります。（中略）皆様方も揃って自分の修養に努力せらるると共に、修養者を一人でも多く作ってください」とあります。

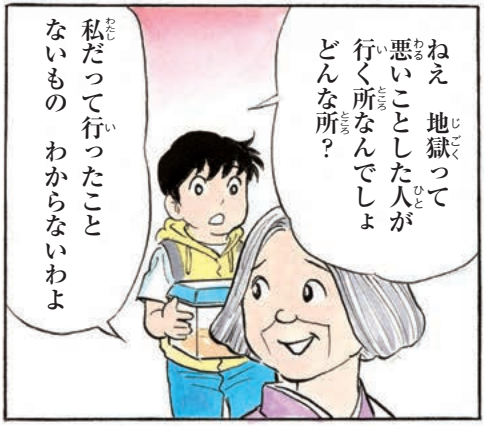
今の時代、私達のなすべきことがここに記されていると思います。

ひまわり #93

地獄と極楽

竹中 淳





本で見たことあるけど火あぶりにされたり体を切り刻まれたりするんでしょ？

よくそういうわね

ゴメンな

地獄はいやだボク極楽がいい

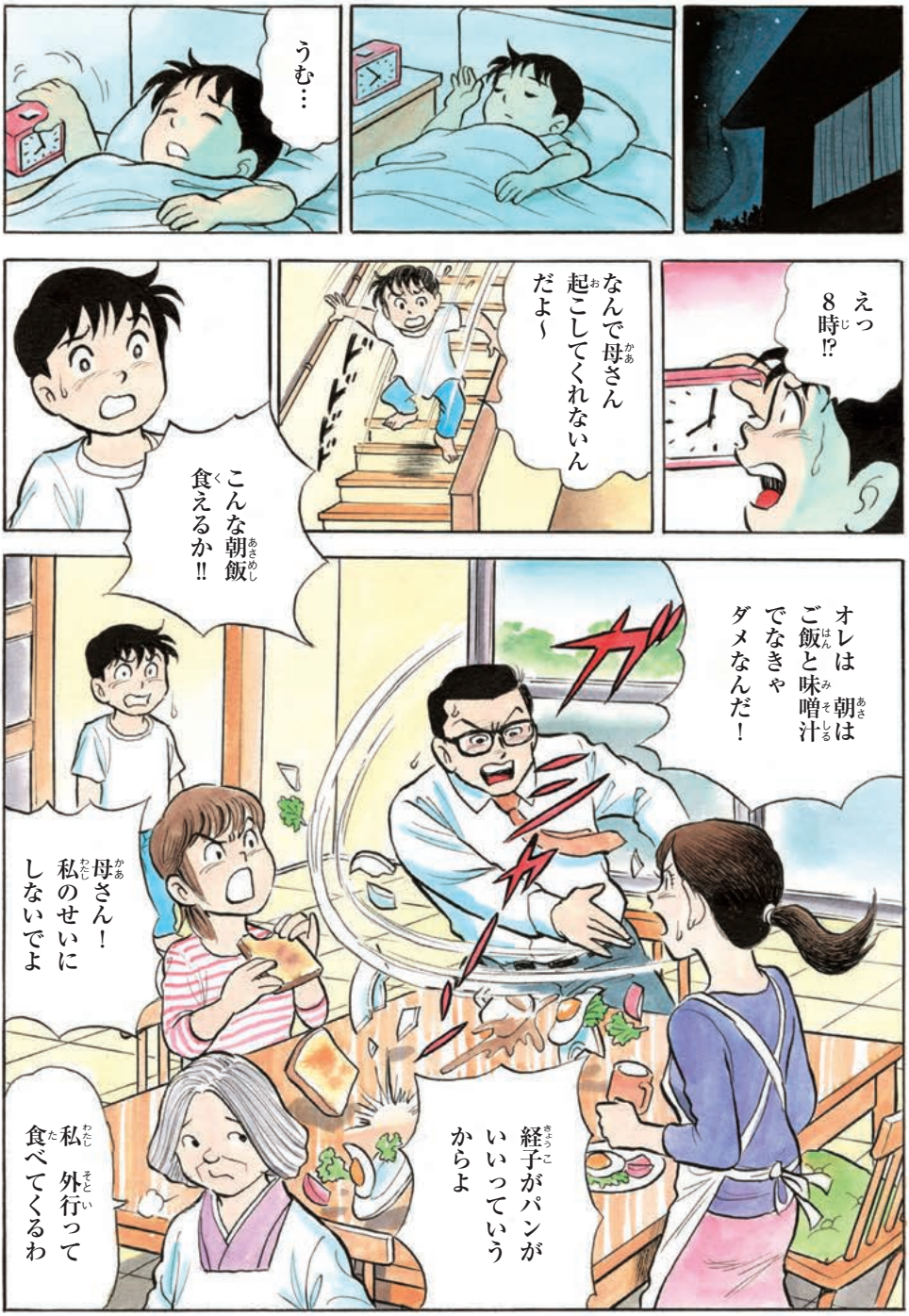
そう…地獄より極楽がいいか…

でもね地獄と極楽はねたいした違いはなくそこに住んでる人の心が違うんだって聞いたことがあるわ

思いやりのある人は極楽に住んでるし地獄には自分のことしか考えない身勝手な人ばかり住んでいるんだよ

そんな地獄も恐ろしい所だよね

そうだね


うむ…
えっ 8時!?
なんで母さん起こしてくれないんだよ〜
ドドドド
こんな朝飯食えるか!!
オレは朝はご飯と味噌汁でなきゃダメなんだ!
ガ
ミシ
ミシ
母さん! 私のせいにしないでよ
経子がパンがいいっていうからよ
私 外行って食べてくるわ

ふたりとも
ケンカしないでよ

蓮はなんだ
今ごろ起きて
来やがって！

だいたい
おまえの育て方が
悪いんだ

なによ　なんでも
私のせいにして！
私は朝から晩まで
家事をしてるのよ！

あたりまえだ
主婦だろ！

私は
あなた達の
召し使いじゃ
ありません

どうしちゃった
んだよ～
父さんも
母さんも～

姉ちゃん
なんとか
してよ

私　行かなきゃ

朝っぱらから
あ～クソッ
気分悪い！

バン

父さん

母さん

私は実家に
帰らせて
もらいます

みんな自分勝手なことばっか言って〜

これじゃ家族がバラバラになっちゃうよ〜

地獄には自分勝手な人ばかり住んでるんだよ

じゃこの家って地獄ってこと？

だめだよこの家が地獄だなんて…

そういうおまえはどうなんだ？

え？

蓮！おまえは自分勝手じゃないのか？

だれ？

わしじゃよ

おまえは自分勝手じゃないのかって聞いておるんじゃよ

じ　じいちゃん

自分勝手じゃないと思うよ
そうかなおまえは家族のみんなに毎日助けてもらっているだろ？
それをあたりまえって思ってないか？

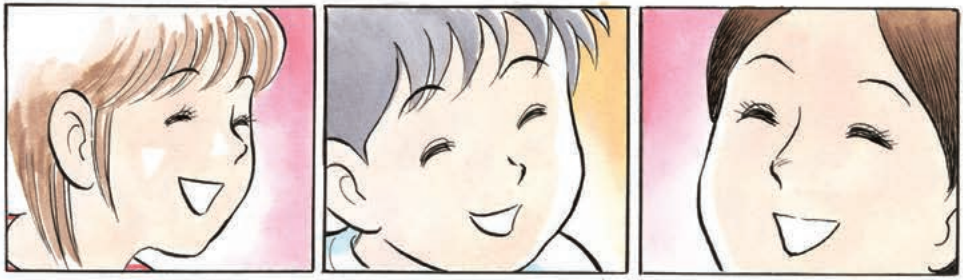
そんなことあまり考えたことないよ
特に父さんや母さんには感謝しなきゃダメだ

最近家の手伝いなにもしてないだろ
…
だれかがなんとかしてくれるなんて考えは身勝手な甘えた考えだぞ

友達にも助けてもらってばかりだろ？
これからは助けてあげられるようにしなきゃ
うん

わかったよ じいちゃん
え？ 夢…
私は 実家に 帰らせていただきます
あ！ 母さん…
良かったぁ 夢だったんだ
トントントントン
おはよう どうしたのよ まだ5時よ
母さんはいつも こんなに早いの？
そうよ お父さんの お弁当もあるし…
ねぇ母さん
なに？

ジャーン
今朝の朝食は蓮が手伝ってくれましたぁ
へぇ
うそ〜



じいちゃん
きのうボクが
見た夢が地獄なら
今朝のボク達は
きっと極楽だよね

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がいました。

貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。

お寺になったのは戦後（昭和22年）のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。

その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。

知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらのQRコードからご覧いただけます。

毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくためのコツなどを配信します。

こちらのQRコードからメールマガジン登録フォームをご覧いただけます。

YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらのQRコードから法音寺紹介動画をご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで 法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい者支援施設
- 障がい福祉サービス事業
- 軽費老人ホーム
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム
- 障がい児入所施設
- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- 保 育 所

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
https://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和2年10月号・No.612・令和2年10月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社